

定期巡回・隨時対応型訪問介護看護

第16回介護・医療連携推進会議 議事録

日時：2025年2月18日(火) 10:30～11:30

場所：まちナカ・コミュニティ西荻みなみ

出席者：岩田（COZY ケアプラン）、長谷川（ケア24 西荻）、首藤（ケア24 南荻窪）、比毛（ケア24 善福寺）、大保（西荻みなみ）、杉並区役所保健福祉部介護保険課事業者係（相川、小永井、峯川）、進藤（まごころクリニック）、ステラ薬局（田中）、ムーケア宮前（木内）、ご利用者ご家族さま（鶴名山）、須藤（笑生）、望月（笑生）、國谷（笑生）、越智（笑生）、宮本（笑生）

司会：越智（笑生）

書記：宮本（笑生）

・越智からの挨拶

・出席者の自己紹介

・令和7年2月のサービス実施報告

・笑生訪問看護ステーション定期巡回訪問介護看護による看取りについて

・質疑応答/意見交換

◎ケア24 西荻 長谷川さん

定期巡回訪問での苦痛軽減とは具体的にどのようなことを行ったのか？→廃用症候群による関節痛・円背での腰痛あり、自己体動困難になったことによる苦痛あり、除圧やポジショニングを適宜行った。また、食べたい気持ちを尊重し、水分を少量摂取してもらうなど食べる楽しみを感じられるような介助を行った。

特養などでは2時間に1回の体位変換を行っているので1日4回の体位変換で苦痛を緩和するのは難しいのではないかと思うがその辺の対応はどのように行ったのか？→同居のご家族への協力依頼を行った

◎ケア24 善福寺 比毛さん

ケア内容の中に清潔ケアとあったが、具体的にどのようなケアを行ったのか？→1日1回の陰部洗浄、週に2回清拭を行った。状態を見つつ、清拭を洗髪に変更することもあった。また、序盤の状態安定時には訪問入浴も利用されていた。

途中で医療保険に切り替わっているが、医療保険で入れるタイミングが決まっているのか？→決まりは特にないが、状態が悪化したタイミングで切り替えをした

◎ステラ薬局 田中さん

定期巡回でも契約を取っていれば緊急時訪問は可能なのか？→可能。ヘルパー介入時に状態の相談があり緊急で看護師が訪問する場合もある。切れ間のないサービスの提供が可能。

◎まごころクリニック 進藤さん

看取りに関しては事前にコミュニケーションをとっておくのが大事だと思う。訪問診療だとどうしても月に1回程度の訪問になってしまい、医師の前だとなかなか本音が見えないこともあり、訪問看護師の情報から知ることも多い。ツールを使用して密に連携をとっていきたい。

臨時での呼び出しの回数はどの程度か？→ときどきによって波はあるが、日中1回、夜間1-2回程度の印象。夜間電話相談などもある。

◎ご利用者ご家族さま 鵜名山さんご夫婦

息子さん：質の高いサービスが受けられている。ケア24の方はじめ、いつもみなさんに感謝している。気になっているのは、母は聞いてもサービス提供者には本音は言わないし、家族にもなかなか言ないので、現在エアマットなど導入して苦痛を和らげるようしているが本当に和らいでいるのかがわからないところ。また、介入者が多くなってくることいろいろな顔が見えるので全体像がみえなくなっている。また料金面(サービスの単位)や、用語がよくわからないことがあったり、介護士と看護師でどのような違いがあり、どこまで依頼してよいのかが分からなかったりということもある。介護保険と医療保険の違いやそれにかかる費用についての不安(高額介護サービス費など最近知った、高額になるのではないかなどの不安もあった)があるので導入ガイドブックのようなものがあるとよいのではないかと思う。

お嫁さん：訪問介護は知っていたが、今回訪問看護を提供してくれる事業所があるのを知った。気になっていることとしては、初めてのことばかりでバイタルひとつとっても基準が分からず数値の目安など資料があるといいなと思う。今後の希望として、自身の母を見取った後悔(安定しており離席してしまったタイミングで亡くなってしまった)から、看取りのタイミングなどのアドバイスや的確な指示がもらいたいと思っている。義母は認知症の影響か、痛いと人格が変わってしまうので最期は痛みを取るような介入を希望する。認知機能の低下を予防していきたいので、その方法などを教えてもらいたい。

◎杉並区役所保健福祉部介護保険課事業者係

鵜名山さんの導入ガイドブックのご提案を受けて

相川さま：わかりやすい資料や加算についての説明など区の方でも取り組んでいきたいと思う。また、ケアマネージャーさんがそれを持って説明などに活かせるとよいかと思う。

小永井さま：訪問サービス導入の際に、入り口の部分を役所で理解してもらってサービス導入につなげられたらと思う。貴重な意見だった。

峯川さま：

◎ムーケア宮前 木内さん

定期巡回を利用すると、単位数をオーバーしてしまうことが多く、リハビリが自費になてしまうことがある。

◎西荻みなみ 大保さん

情報交換のよい場となった。他人ごとではなく考えていきたいと思う。自身でも母を見取った経験があり、そのことを思い出し少しつらくなってしまった。

◎ステラ薬局田中さん

定期巡回が入っていると薬局としても、訪問した際の対応や相談などが定期巡回の訪問に合わせてできるので助かっている。介護保険と医療保険の違いに関しては難しいところもあるので、最初の導入のところで道しるべのような場所があるとよいのではないかと思っている。

◎ケア 24 南荻窪 須藤さん

異動してきたばかりで勉強中。難病も増えてきている印象。サービスをたくさん入れるとどうしても登場人物が増えてきてしまう。また状態が悪化するとこちらも焦ってご家族やご本人の気持ちを忘れてしまいがちになってしまふので気をつけたい。

◎笑生 望月さん

利用者とサービス事業者をつなげる役割として存在して、導入時にどのように対応するか考えていかなければならぬないと感じる

◎ケア 24 善福寺 比毛さん

今回成功事例を聞くことが出来たので次回は困難事例を聞きたい

◎COZY ケアプラン 岩田さん

お金の件が一番知りたいし、分かりやすいし分かりにくいこと。笑生と連携して介入した事例で、お金がなくても在宅で看取りが出来たという経験がある。疑問点としては、生活支援をどのように導入していくか、というところ。自費になってしまうのか？

→サービスの組み合わせがうまくできるプランとそうでないプランがある。必要な利用者に関しては、自費になることを説明して行っている。週間スケジュールの中で組み込んでいくことでサービスとして成り立つと考えている。デメリットとしてはいいように使われてしまう可能性があること。(須藤)

◎ケア 24 西荻 長谷川さん

介護保険の根本である説明と同意を、家族支援が重要。複雑になってくるとどう説明していくのが難しいことが出てくる。

◎まごころクリニック 進藤さん

いろんなサービスや業者が出入りすることになるので複雑化していく一番戸惑っているのはご家族さまなんだなということに気づかされた。自分たちのサービス以外のことも全体的にみていかなければいけないと思った。

次回開催予定は令和7年8月の予定